

平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日から 27年3月31日まで

特定非営利活動法人女性技術士の会

1 事業の成果

科学技術発展のための普及啓発事業及び女性の職域に関する普及啓発活動では、技術サロン（理工系女子学生や女性技術者のキャリアに関する座談会）への協力、教育機関の要請に応じ職域紹介に関する講座への講師派遣の協力、夏学（女子中高生夏の学校）、サイエンスアゴラなどのイベントへ参画しパネル展示や理系の仕事の啓発冊子「理系の仕事って？」を配布し、科学技術発展のための普及・啓発に努めた。

国際会議における交流事業では、INWES-J（国際女性技術者・科学者ネットワーク日本支部）の運営に参画している。平成26年度は、ICWES16（国際女性技術者科学者会議：開催地ロサンゼルス）においてワークショップを主催した。APNN（Asian & Pacific Nation Network：開催地ソウル）、日中韓女性科学技術指導者フォーラム（開催地：内モンゴル自治区）においても発表を行った。日韓女性技術士交流会（開催地松山）も継続している。

高専機構主催の行事「2014年度 高専女子フォーラム」の後援、他団体との協働、東日本大震災被災地域の学生を対象にした支援事業も引き続き展開した。

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
科学技術発展のための普及啓発事業	技術サロンへの協力。JABEE課程及び理工系の女子学生と女性技術士の交流の場を設け、技術士資格や技術者のキャリア形成に関して活発な意見交換を実施した。	6月21日 9月20日 12月20日 3月28日	公益社団法人 日本技術士会 会議室	10名	JABEE課程及び理工系の女子学生、技術系社会人等約40名	0
	震災復興支援事業の一環として理工系女子学生を応援するため、技術サロンへ女子学生を招待した。	6月21日 12月20日	公益社団法人 日本技術士会 会議室	—	東北地方在住学生5名	100
	「サイエンスアゴラ2014」にポスター参加、技術系の資格や理系の仕事の普及啓発に努めた。	11月8～9日	日本科学未来館	5名	一般	61
	「出前サロン」に関するアンケート実施	8月～9月	都内	3名	約100名	0

仕事と生活の調和を目指した社会基盤整備啓発事業	シンポジウム「おもしろまちづくり」シリーズの総括を実施し、来期シンポジウムの方向性を確認した。	随時	都内	3名	約100名	0
	ICWES16におけるワークショップを主催	10月23日～25日	ロサンゼルス	7名	ICWES16参加女性技術者約120名	0
女性の職域に関する啓発事業	理科系大学へ講師派遣-女性が技術者として働くことに関してキャリア形成、技術士等についての講演を行った。	随時	該当大学(近畿大学工学部)他	1名	理科系女子学生他約50名	0
	冊子「理系の仕事って？」制作	8月1日発行	都内	広報部員他*	中学～一般400冊	(79) 注1
	「女子中高生夏の学校2014」において理系の職域紹介等のパネル展示に参画、冊子「理系の仕事って？」	8月8日	独立行政法人国立女性教育会館(埼玉)	8名	女子中高生及び保護者等約150名	30
	「九工大懇話会」へ会員派遣し、キャリア支援を実施	7月23日	都内	2名	懇話会参加者約20名	0
国際会議における交流事業	INWES-Jへ会員を派遣し運営に参画した。	年間	INWES-J事務所他	国際部6名	海外含む女性技術者不特定多数	0
	APNNにおいて発表、及び女子大学院生の派遣。	7月29～31日	ソウル	2名	海外含む女性技術者80名	0
	日中韓女性科学技術指導者フォーラムにおいて発表	8月13～15日	内モンゴル自治区	1名	海外含む女性技術者約100名	0
	ICWES16に参加、海外の女性技術者との交流及び運営会議に参加。	10月23日～25日	ロサンゼルス	7名	海外含む女性技術者8000名	59
	日韓女性技術士交流会、懇親会により相互理解を深めた。	10月19日	松山	6名	日韓女性技術士21名	64

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)
その他目的を達成するための必要な事業	ウェブサイトをリニューアルし、法人活動の普及啓発のための情報を発信、充実に努めた。	随時	都内	6名	10
	法人活動の定期的な広報を目的として「ニュースレター」を発行した。	4、7、10、1月末発行	都内	6名	0
	だいし水辺の楽校見学会	8月23日	川崎	7名	0

(2) その他の事業
なし

26年度 活動計算書

平成26年 4月 1日から 平成27年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 女性技術士の会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	187,000	
協力会員受取会費	16,000	
賛助会員受取会費	58,000	
2 受取寄附金		
受取寄附金 (福島学生支援として)	100,000	
受取寄附金 (指定なし)	77,000	
3 受取助成金等		
受取補助金	0	
4 事業収益		
	0	
5 その他収益		
受取利息	201	
経常収益計		438,201
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
(1) 科学技術発展のための普及啓発事業		
震災復興支援事業		
交通費 (福島学生支援として)	100,000	
(2) 女性の職域に関する啓発事業		
女子中高生夏の学校		
交通費	5,000	
印刷製本費 (冊子、ポスター)	24,761	
通信運搬費	710	
(3) 国際会議における交流事業		
日韓女性技術士交流会		
交通費	10,000	
会議費	48,380	
交際費 (お土産代)	5,242	
手数料 (銀行)	648	
ICWES16		
交通費	50,000	
印刷製本費	2,240	
通信運搬費	6,650	
(4) 仕事と調和を目指した社会基盤整備啓発事業		
アゴラ		
印刷製本費 (小冊子)	58,971	
通信運搬費	2,328	
(5) その他目的を達成するために必要な事業		
通信運搬費 (ウェブサイト維持費)	7,665	
印刷製本費 (会パンフ)	9,158	
見学会	2,120	
その他経費計	333,873	
事業費計		333,873
2 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
総会費用	25,334	
会場費 (理事会)	16,900	
会場費 (各部会)	20,500	
消耗品費	1,466	

通信運搬費	9,553		
印刷製本費	3,560		
手数料(銀行)	324		
その他経費計	77,637		
管理費計		77,637	
経常費用計			411,510
当期経常増減額			26,691
III 経常外収益			
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
経常外費用計		0	
税引前当期正味財産増減額			26,691
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			26,691
前期繰越正味財産額			1,245,335
次期繰越正味財産額			1,272,026